化学療法プロトコール・レジメン登録用紙

登録プロトコール名	wPTX + HER + PER
診療科	乳腺外科
診療科責任者	
申請者名	西 隆
適応	乳癌
登録年月日	2019.10.01

抗がん剤名称	投与経路	標準投与量
パージェタ	div	[初回] 840mg
		[2回目以降] 420mg
ハーセプチン	div	[初回] 8mg/kg
		[2回目以降] 6mg/kg
パクリタキセル(PTX)	div	80mg/㎡

承認	承認	承認	
委員長	副委員長	事務局	

投与スケジュール: 3週間毎 4コース

投与順	Rp	経路・時間	-1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
①	血管確保・フラッシュ用 生食 50mL			●							●							●							●						
②	[初回] パージェタ 840mg + 生食 250mL	div 60min		●																											
	[2回目以降] パージェタ 420mg + 生食 250mL	div ※30min																							●						
③	フラッシュ用 生食 50mL			●																					●						
④	[初回のみ] ハーセプチン(8mg/kg) + 生食 250mL	div 90min		●																											
	[2回目以降] ハーセプチン(6mg/kg) + 生食 250mL	div ※30min																							●						
⑤	フラッシュ用 生食 50mL			●																					●						
⑥	デキサート6.6mg + ファモチジン20mg + ポララミン5mg + 生食100mL	div 30min		●							●							●							●						
⑦	パクリタキセル(80mg/㎡) + 5%ブドウ糖液 250mL	div 60min		●							●							●							●						
⑧	①,③,⑤いずれかの残液でフラッシュ			●							●							●							●						

※初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮可

※ アルコールに関する問診必須 (パクリタキセルはアルコールを含有しているため)
点滴後は自動車運転や危険を伴う作業禁止、 アルコール過敏症患者 : 慎重投与

※ 輸液セットは [SA-PNF320NM] を使用　　0.22μm以下のメンブランフィルターを用いたインンライフィルターを使用
点滴セットに可塑剤としてDEHPを含有しているものの使用は避ける

(備考)パージェタ
何らかの理由により予定された投与が遅れた場合には、以下の通り投与するのが望ましい。
(1)前回投与日から6週間未満:420mgを投与
(2)前回投与日から6週間以上:改めて初回投与量の840mgで投与
(次回以降は420mgを3週間間隔)

開始予定日　□あり　年　月　日　　□なし